

## 講習会・勉強会活動報告

テーマ：「ボトックスについて」

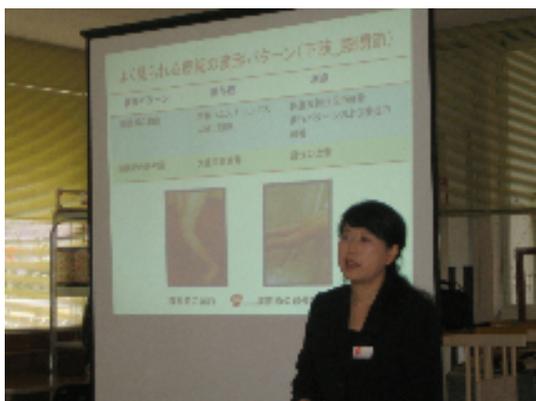
講師：グラクソ・スミスクライン株式会社

項 安波 先生

日時：平成 23 年 3 月 7 日 17:00～18:00

内容：講義

参加人数：約 60 名 (Dr PT OT Ns 薬剤師)



ボトックス(ボツリヌス毒素)は神経筋接合部などでアセチルコリンの放出を妨げる働きをし、筋肉の収縮を抑制する効果があります。実際に臨床効果が確認されるのは 3～4 日後です。最大効果は 3～4 週間後に発現され、3～4 ヶ月効果が持続するといわれています。日本では、脳卒中後の痙性麻痺に対して 2010 年に適応となりました。

ボトックスの臨床効果としては、リハビリテーションや ADL が行いやすくなる、拘縮を防ぐ、疼痛緩和、介助負担の軽減などがあります。この度は、実際にボトックス注射施行前後の症例の動画を提示されました。ボトックス単独では効果がなく、キャストイングや電気刺激療法、運動療法などのリハビリテーションと併用することで筋緊張や動作が改善していくとご説明されました。



質疑では、ボトックスを注射した後にいつからリハビリテーションを行うか？など活発な意見交換が行われ、充実した講習会となりました。



最後に、項先生には1時間以上にわたりご講義いただきましてありがとうございました。

(文責 副センター長 西野 琢也)